

用語解説

用語解説

No.	用語	ページ	内容
1	教育 DX	3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・DXはデジタル・トランスフォーメーションを指し、学校がデジタル技術を活用して、今までできなかった学習や業務を実現し、時代に対応した教育を進めていくこと
2	教育データの利活用	3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育データを活用して、取組や実践を評価し、より良い方向へと改善していくこと
3	ウェルビーイング	3, 6	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念 ・多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念 
4	自己調整	6	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定していく様子
5	幼児期に育てたい力	9, 15	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の子どもに身に付けさせたい力として、「幼児期に育てたい力」を明記した、本市における幼児教育の指針
6	グローバル	8, 12	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル（地球規模）とローカル（地域）を合わせた言葉
7	CEFR の A1 レベル	12	<ul style="list-style-type: none"> ・Common European Framework of Reference for Languages : Learning, teaching, assessment 「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」の略 ・A1レベルは、6段階のうち、最も基礎にあたるレベル（英検3級程度）

No.	用語	ページ	内容
8	持続可能な開発目標 (SDGs)	14	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと ・17のゴール、169のターゲットで構成 
9	STEAM 教育	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の頭文字をとったもので、各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育のこと
10	スタートカリキュラム	15	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ入学したこどもが幼稚園や保育所などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム
11	ポートフォリオ	15	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が作成したレポートや作品などを蓄積していくもの ・学校では「キャリア・パスポート」等により、こども自身の学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価したものを記録・蓄積し、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながるものとして活用 
12	スクールカウンセラー (SC)	16	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の心のケアや、ストレスへの対処法心理の専門家 ・教育委員会から学校等に派遣または配置

No.	用語	ページ	内容
13	スクールソーシャルワーカー (SSW)	16	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないだり、手続きの補助などをしたりする福祉の専門家 ・教育委員会から学校等に派遣または配置
14	こども・若者を対象とした育成支援機関	16	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の家や児童相談所、児童家庭支援センター、教育総合支援センター、ハローワーク、地域若者サポートステーションなど、こども・若者の健全育成や支援を行う機関・施設
15	教育的ニーズ	17, 18, 19, 21, 23	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のこどもや保護者が、教育上求めているものや必要なもの
16	発達支援学級	17	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、「発達支援教育」の理念に基づき、小学校、中学校等の「特別支援学級」を「発達支援学級」と定義 ・特に障がいのあるこどもの教育的ニーズに応じた支援体制の一つで、こどもの発達段階等に即したきめ細かい指導により、障がいによる学習上、生活上の困難を克服するために設置されている少人数学級
17	発達支援教育	-	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、「特別支援教育」を「発達支援教育」と呼び、その理念を「確かなこども理解により、一人一人のこどもや保護者の教育的ニーズを的確に把握し、それに対して適正に支援していくこと」としている
18	インクルーシブ教育システム	17	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのあるこどもと障がいのないこどもが可能な限り共に学ぶ仕組み
19	特別の教育課程	19	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が学校生活を送る上や教科等の授業を理解する上で必要な日本語の指導を、在籍学級の教育課程の一部の時間に替えて、在籍学級以外の教室で行う教育の形態
20	教員育成指標	22	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の教職員に求められる資質能力を示すもの ・「浜松市校長（園長）育成指標」、「浜松市教員育成指標」、補助資料で構成
21	ワーク・エンゲージメント	24	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に対して前向きで充実した心理状態
22	就学援助制度	28	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由で困っている保護者に対して、学用品や給食費などの一部を援助する制度

No.	用語	ページ	内容
23	コミュニティ・スクール	8, 30	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が力を合わせて学校運営に取り組む仕組みである「学校運営協議会」を設置した学校 ・2024（令和6）年度までに全ての市立小中高等学校に設置済 
24	地域学校協働活動	8, 30	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動
25	はままつ人づくりネットワークセンター	31	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力的な人材や素材を整理・蓄積し、学校の教育活動等に提供するウェブサイト
26	放課後児童会	32	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に生活と遊びの場を提供する事業
27	広聴モニター	36	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の方に、広聴モニターの協力依頼を行い、承諾いただいた方
28	移動教育委員会	36	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長講話や参加者との意見交換を通じて、開かれた教育行政の推進を図り、本市の教育について理解を深めていただくために実施する会議
29	パブリック・コメント制度	37, 38	<ul style="list-style-type: none"> ・市が計画や条例などを策定するときに、案の段階で公表し、ご意見、ご要望などを聴きながら最終的な案を決定する手続きのこと

第4次

浜松市教育総合計画

令和7年3月発行

編集・発行 浜松市教育委員会 教育総務課

〒430-0929

浜松市中央区中央一丁目2番1号 イーステージ浜松オフィス棟6F

TEL 053-457-2401 FAX 050-3730-8496

E-Mail k-kikaku@city.hamamatsu-szo.ed.jp

[浜松市のホームページ](#) [第4次浜松市教育総合計画](#) [検索](#)

